

令和2年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
農産・蚕糸部門

農業経営への女性参画による経営発展や地域振興の実現

- 氏名又は名称 長谷川 信枝・長谷川 吉弘
- 所在地 福井県あわら市
- 出品財 女性の活躍（水稲・そば・園芸）
- 受賞理由

・地域の概要

あわら市は、福井県の最北端に位置し、九頭竜川以北に広がる水田地域、野菜・果樹生産が盛んな丘陵地域、里地里山の風景が広がる山間地域など、多様で豊かな環境が備わっている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

長谷川信枝氏は、夫の吉弘氏を手伝う形で就農後、大型特殊機械やフォークリフトの免許取得や、農業簿記を受講して青色申告での経営管理を行うなど、経営発展に積極的に取り組んできた。就農当初は約2ha規模の家族経営だったが、その後、長谷川農園株式会社として法人化を果たし、100ha規模の法人経営に拡大している。

・受賞者の特色

(1) 省力化・低コスト化の取組

9品種以上の水稲を作付することで作期拡大や労力分散を図りつつ、育苗箱の播種量を通常の1.5倍に増やして単位面積当たりの育苗数を減らすことで生産コスト、労働時間を削減している。また、農地中間管理事業を活用して地元北潟地域の5～6割の農地を集約し、作業効率化による低コスト化を実現している。

(2) 6次産業化の推進

水稲やそばに加え、ブルーベリーも生産しており、加工施設を整備してジャム等の加工品の生産・販売に積極的に取り組むなど、地域における6次産業化の先駆的存在である。現在は、地域の女性専業農家のグループとともに加工販売や、摘み取り体験という観光型農業により地域活性化にも貢献している。

(3) 女性の活躍

女性専業農家のグループに所属し、農業簿記や家族経営協定等についての勉強会の企画や、大型機械・フォークリフト免許の取得等、女性が活躍できる環境づくりに取り組んできた。また、家族経営協定書で役割分担や就業規則を定め、家事労働も労働時間とみなす等、女性が無理なく働ける環境を整えている。

・普及性と今後の発展方向

大型機械等の免許取得や青色申告による経営管理等を通じた経営の規模拡大、家族経営協定による家族間での役割分担の明確化等、女性が積極的に活躍できる新たな経営モデルを示した。今後は、受託農地の拡大を図るとともに、そばの6次化を視野に入れた新たな加工施設整備、ドローン等先進技術の導入、地域の担い手育成等、企業としての地域貢献や女性が活躍しやすい環境の拡大を目指している。